

平成30年度第1回（5月）大磯町議会 議会報告会

議 会 報 告 会 資 料

（開催日）

- 1回目 平成30年5月13日（日）国府支所 午前10時～11時30分
2回目 平成30年5月13日（日）保健センター 午後3時～4時30分

資 料

議会議員の紹介	1～3
議会基本条例について	4～5
議会報告事項 平成30年度予算審査の内容について	6～9
添付資料 前回報告の結果について	10～14

議会議員の紹介（議員名簿）

町条例定数 14人
現議員数 13人（欠員1名）
任期 平成29年7月25日～平成31年7月15日

議長

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
16	せき たけくに 関 威 國 	議長 総務建設常任委員会委員	無所属	2回

副議長

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
1	たけうち えみこ 竹 内 恵美子 	副議長 福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会委員	無所属	4回

監査委員（議会選任）

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
8	おくつ かつこ 奥 津 勝 子 	監査委員 福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	公明党	4回

議会議員名簿

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
2	せいた ふみお 清 田 文 雄 	総務建設常任委員会委員長 議会運営委員会委員 議会だより編集委員会副委員長 大磯町都市計画審議会委員 (総務建設常任委員会委員長として委嘱)	無所属	1 回
3	よしかわ しげお 吉 川 重 雄 	福祉文教常任委員会委員	無所属	4 回
5	みさわ たつお 三 澤 龍 夫 	福祉文教常任委員会副委員長 議会運営委員会副委員長	無所属	6 回
6	かたの てつお 片 野 哲 生 	福祉文教常任委員会委員長 議会運営委員会委員 大磯町民生委員推薦会委員 (福祉文教常任委員会委員長として委嘱)	無所属	2回
7	たかはし ひでとし 高 橋 英 俊 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	4回
9	にのみや かずこ 二 宮 加 寿 子 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	公明党	2回

議会議員名簿

議席 番号	氏 名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
10				
11	たまむし しほみ 玉 虫 志保実 	福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	1 回
12	すずき きょうこ 鈴 木 京 子 	総務建設常任委員会委員 議会運営委員会委員	日本 共産党	5回
13	わたなべ じゅんこ 渡 辺 順 子 	福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会委員長	無所属	4回
15	しばさき しげる 柴 崎 茂 	総務建設常任委員会委員	無所属	4 回

大磯町議会基本条例の概要

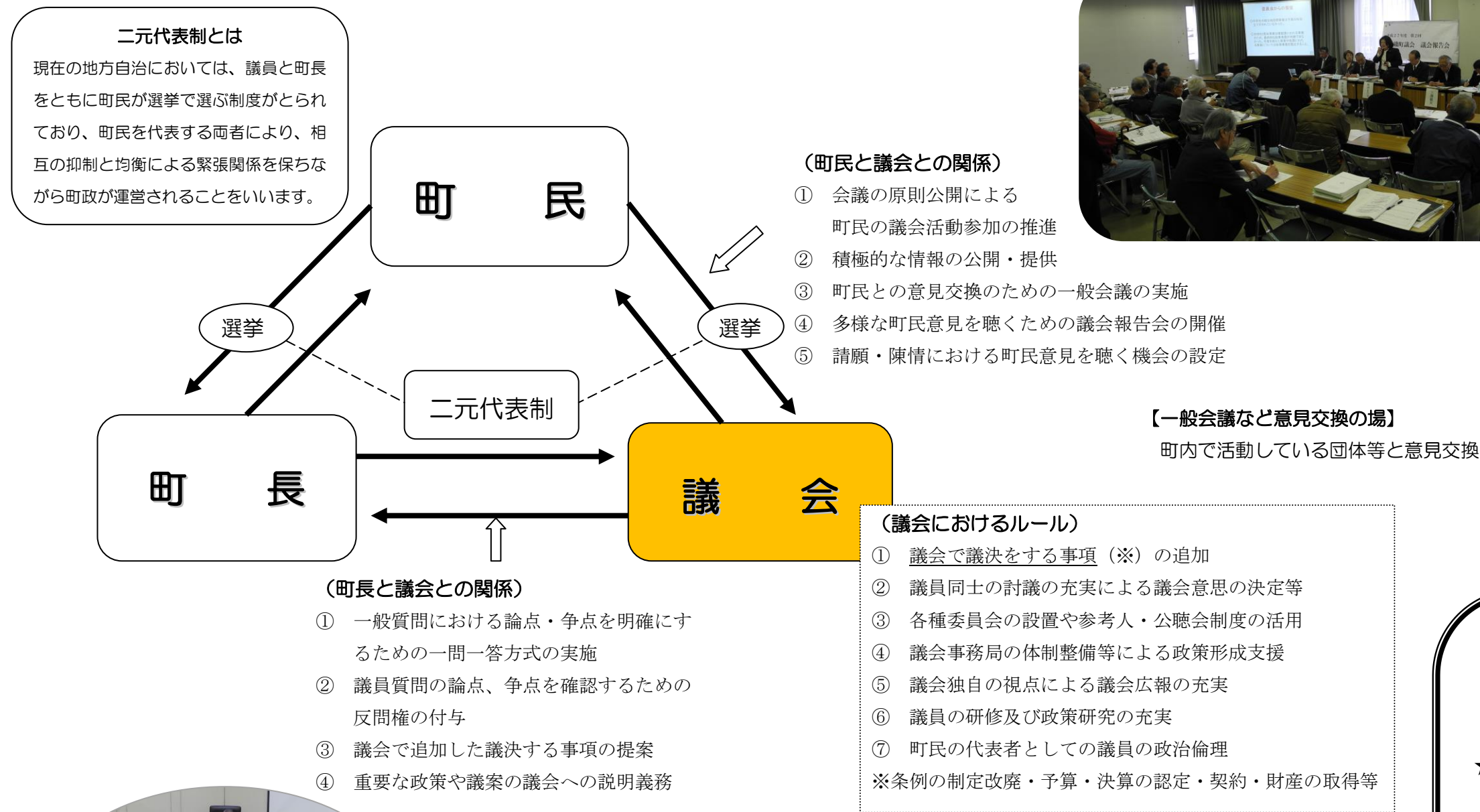
条例の重要項目	条文の概要	
①情報公開による 透明性の確保 ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第11条 ・第14条	前 文	議会は町民の代表機関、町政の立案・決定・監視、町民と協働のまちづくりの推進、議会活動の説明責任を果たす公正で透明、開かれた議会を構築する 本条例の議会運営のルールを遵守・実践し、町民から信頼され存在感のある豊かな議会を築くため不断努力
	第1条 (目的)	開かれた議会で議事機関としての役割を果たす、町民の福祉の向上と豊かなまちづくりの実現に寄与
	第2条 (議会の使命)	町政の監視、政策立案の決定・推進
	第3条 (議会の活動原則)	町民を代表する議事機関、透明性等を重んじた開かれた議会、町民参加と協働
②町民参加と協働 ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第10条	第4条 (議員の責務)	自由な討論の推進、町民要望等の的確な把握、能力を高め町民の代表としての活動
	第5条 (町民と議会の関係)	本会議等の公開、情報の公開・提供、一般会議、請願・陳情は政策提案、議会報告会
	第6条 (町長と議会及び議員の関係)	質疑応答は論点・争点を明確にする一問一答方式、町長等反問権
	第7条 (重要政策の審議等)	町長等は重要な政策提案前に政策決定過程から将来コストなど7項目の情報提供
③議員間の自由討 議と反問権 ・第4条 ・第6条 ・第9条	第8条 (議会の議決事件)	まちづくり基本計画、町出資する法人出資
	第9条 (議会における自由討 議の拡大)	議会は言論の府であることを認識し、議員間の十分な討議による議会意思の決定等
	第10条 (議会の組織)	迅速・柔軟な委員会設置、参考人・公聴会制度の活用
	第11条 (政務活動費)	政務活動費を有効に活用、使途基準に従い適正に執行、使途の説明責任
④政策形成能力の 向上 ・第2条 ・第5条 ・第7条 ・第8条 ・第9条 ・第13条	第12条 (議会事務局の体制整備等)	議会又は議員の政策形成支援、町長等は財政・情報提供措置
	第13条 (議員の研修等)	議員の研修・政策研究を充実
	第14条 (議会広報の充実)	議会独自の視点から情報公開
	第15条 (議員の政治倫理)	町民の代表者として倫理性を自覚、町民の疑惑を招かない行動
	第16条 (この条例の性格等)	議会運営に関する最高規範、不断に見直し必要な措置
	附 則 平成21年11月1日から施行	

大磯町議会基本条例の全文をはじめ、議会活動については町ホームページ「大磯町議会」をご確認ください。

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/gikai/index.html>

編集・発行：大磯町議会事務局 TEL 0463-61-4100(内線281・292) FAX 0463-61-1991

大磯町議会基本条例における町民との協働によるまちづくり



【議会報告会】

議会の活動等をご報告し、町民の皆様からご意見をいただく場として開催



【一般会議など意見交換の場】

町内で活動している団体等と意見交換



【定例会・臨時会】

議案の審議・採決など
議場で行い、SCNでテレビ放映している。



【委員会・協議会】

議案、請願・陳情などの審査、町長からの重要事項の報告など

- 議会運営委員会
- 議員全員協議会
- 総務建設常任委員会・協議会
- 福祉文教常任委員会・協議会
- 議会だより編集委員会
- 予算（決算）特別委員会
- など

大磯町議会の紹介

★現在の議員の人数は13人（欠員1人）
（男性：7人 女性：6人）
任期は平成27年7月16日から
4年間

★議会改革度調査（早稲田大学マニフェスト研究所が全国の都道府県・市町村議会を対象とした調査）で、2016年のランキングは全国で32位、町村で5位

大磯町議会



～ 議会の役割 ～

地方分権が進む中で、町の自己責任・自己決定の範囲が拡大し、二元代表制の一翼である議会が担う意思決定機関、行政の監視機関としての役割と責任は、これまで以上に重要となってきています。

このため、大磯町議会では、議会の役割と活動の指針を明らかにし、町民の参加と協働を推進するため、大磯町議会基本条例を平成21年11月1日に施行しました。

この条例は大磯町議会の最高規範であり、条例に定める議会運営のルールを遵守し、実践することによって、町民福祉の向上と持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的としています。

議会報告会

－ プログラム －

1. 主催者挨拶
2. 平成30年度予算審査の内容（40分）
3. 少人数に分かれて意見交換（45分）

①

平成30年度予算の概要

総額 約190億8,600万円(△5.8%)

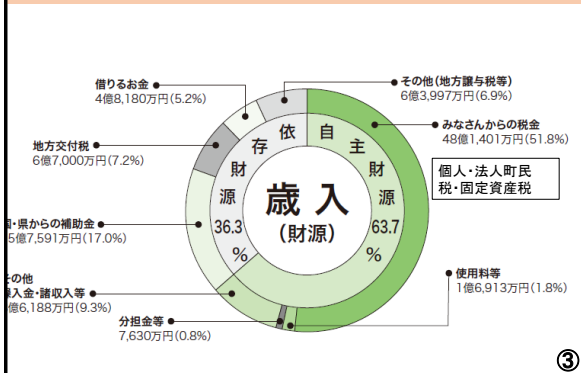
一般会計 92億8,900万円(△5.7%)

特別会計

国民健康保険事業 37億3,700万円(18.9%減)
後期高齢者医療 9億7,100万円(10.5%増)
介護保険事業 31億200万円(0.03%増)
下水道事業 19億8,700万円(8.9%増)

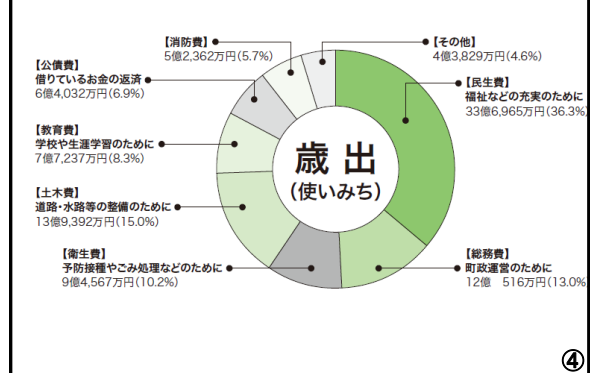
②

一般会計 歳入



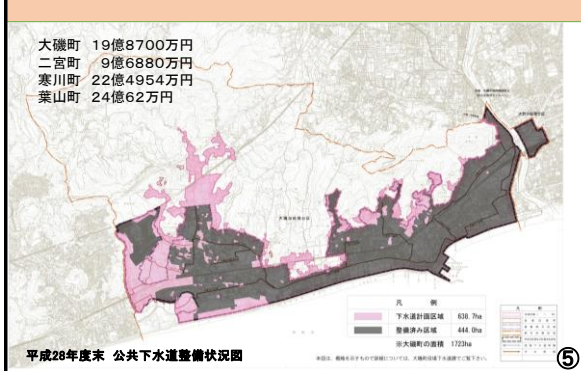
③

一般会計 歳出



④

下水道事業の進捗状況



⑤

下水道事業公債費残高の推移

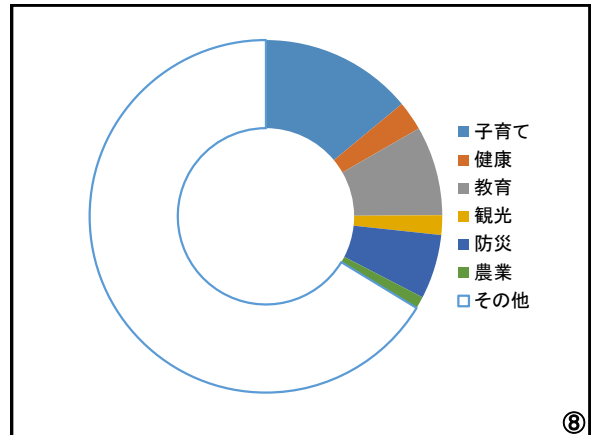


⑥

一般会計に占める重点6事業の割合

子育て	約13億円	14%
健康	約2億5400万円	2.7%
教育	約7億6100万円	8.2%
観光	約1億6900万円	1.8%
防災	約5億4400万円	5.9%
農業	約9800万円	1.1%

⑦



⑧

主な12事業内容

本庁舎建設基金
職員働き方
明治150年記念
港オアシス
ごみ処理広域化
マリア道
橋りょう長寿命化
観光案内板
駅周辺
満3歳児保育
中学校給食
教育研究所

⑨

本庁舎建設基金積立金 1億円



⑩

職員の働き方 研修費156万円

平成29年度 大磯町職員アンケート 調査結果

I 調査の概要

大磯町では、若手職員の増加や業務過多により長時間労働が慢性化しています。一部の部署においては時季的な業務や突発的な事務対応もある一方で、組織やマネジメントに関わる問題や職員意識に起因する時間外勤務の発生も見受けられます。

そこで、働き方の見直しや職場環境の改善が求められる中、今後の職場づくりに活かす方策を導き出すため、全職員を対象とした職員アンケートを実施します。

(1) 調査対象

全職員（在勤付職員、在勤付短時間職員、再任用職員を含む）299人を対象に実施し、回答者234人、回答率78.3%でした。

※育児休業、療養中の職員及び派遣中の職員は対象外としています。

(2) 調査期間

平成29年11月27日（月）～平成29年12月15日（金）

平成29年度 正規中途退職者数 13名

⑪

明治記念大磯邸園事業関連 640万円



⑫

大磯港みなとオアシス推進事業 7350万円

実施設計 2300万円
工事費 5000万円(全体予算3億5000万円)
漁協負担金1035万円



⑬

ごみ処理広域化運営事業 9660万円

環境事業センター 5239万円
リサイクルプラザ 1100万円
粗大ごみ破砕施設 2705万円
剪定枝資源化センター 615万円



⑭

国府本郷西小磯1号線整備事業 6,550万円

事業概要
調査委託・測量調査・設計監理・土地購入費・補償費・整備工事(849m)



⑮

橋りょう長寿命化修繕事業 1億1670万円



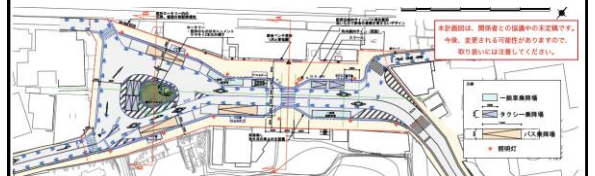
⑯

観光案内板整備事業 1760万円



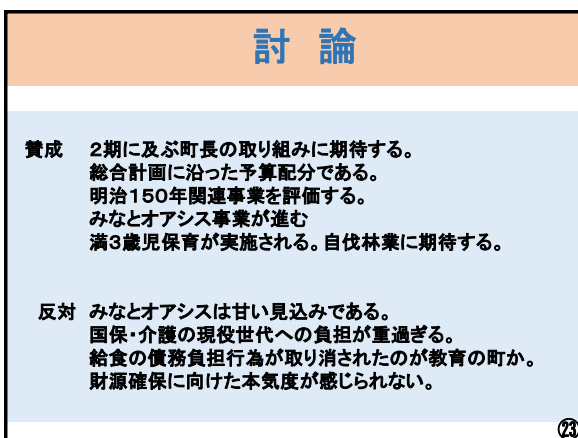
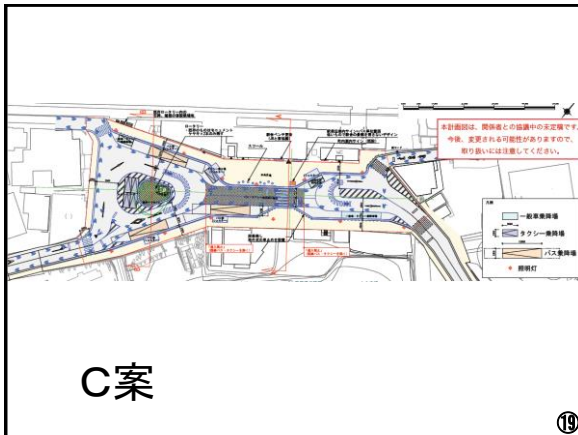
⑰

大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業



A案

⑱



平成29年度 第2回 議会報告会 の意見・提言・要望等

	分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
1	教育・子育て	中学校給食	国府支所 保健センター	デリバリー給食が休止となり、各自弁当持参となっているが、弁当を作る家庭ばかりではなく、各家庭の費用負担は増えている。 異物混入の件で、町の対応が生ぬるいのではないかと問題を感じ、ここまで放置したのか。一つ一つの対応が遅く、誠意が感じられない。 育ちざかりの中学生は将来の大磯町を背負って立つ人間であるから、予算を多少なりとも余分に使っても反対する人はいない。美味しく喜んで食べることができる給食を考えていただきたい。 今回の件をしっかりと検証し、今後の対応、検証の仕組みづくりに生かしてほしい。	デリバリー方式による中学校給食については、生徒の食育という観点とともに、家庭の負担を軽減するという点も考慮した中で開始しました。 残念ながら、残食率や異物混入などの問題があり、平成29年10月16日より休止となりました。当面の昼食については、学校と連携を図りながら、各学校の実情に合わせた対応ができるように協議していきたいと考えています。 異物混入に関しましては、工場内での混入が明らかになったものについては事業者に対し厳重注意を行い、再発防止の指導をしておりますが、報告の多くが混入経路の特定が難しいものであったため、対応に時間を要してしまいました。結果として生徒たちに不安を与えてしまい、大変申し訳なく思っています。 今後は、平成30年度に調査業務を行い、懇話会等の意見を踏まえ、給食提供方式を検討し、給食の実施再開に向け取り組んでまいります。
2	危機管理	防災対策	国府支所	災害時の避難場所である国府小学校のマンホールトイレを使いやすくしてほしい。 また、ソーラー発電や蓄電設備に問題はないか。 町から各地区に防災の費用が出ているが、3万円では足りない。地区によって金額に差があるのか。もっと防災に予算をかけるべきではないか。	マンホールトイレは、災害時等における簡易的な設備であるため、し尿を排水する機能がありません。このため、毎回又は一定間隔で置き水等による排水が必要であり、使いにくいという意見も届いています。国府小学校においては、この排水にプールからの排水の利用を検討していましたが、十分な水压ではないため、置き水により処理することが確実です。使用方法の改善について研究してまいります。当面は現状の使用法での対応をお願いいたします。 ソーラー発電設備や蓄電設備については、設置から20年以上経っているものもあり、経年劣化による故障もみられるため、順次改修しています。 自主防災組織の支援については、一律で交付する運営費補助（1団体33,500円/年）や、結成時に世帯数に応じて交付する防災資機材購入補助を実施しています。また、コミュニティ助成等の補助金を活用し、地域防災活動のさらなる充実に努めてまいります。
3	建設・都市計画	県道整備	国府支所	県道相模原大磯線の生沢西乃池交差点に、伊勢原方面からの右折レーンがなく、非常に曲がりにくい。右折レーンが設置されるということだったが。	神奈川県では、現在、右折レーンの整備に必要な用地買収について、地権者と交渉を行っており、平成31年度の工事完成を目指して事業が実施されています。
4	生活環境	ごみの分別	国府支所	新しく引っ越して来た人に、ごみの分別方法をしっかりと説明し、指導してほしい。 ごみ集積場所に注意書きの看板を設置したり、アパートの入居者には、大家さんにも協力してもらってほしい。	転入手続きの際に町民課の窓口で「ごみの分け方・出し方」の冊子等を配布し、分別方法等の周知を図っています。また、広報及びホームページには定期的に関連記事を掲載し、正しいごみの分別方法と呼び掛けています。さらに「おいそ廃棄物減量化等推進員」と協力して集積場所での分別啓発を行っています。 集積場所への注意喚起の看板については、集積場所利用者からの要望に応じて看板の設置などを行っています。また、集合住宅については、地域の方に協力いただき、転入手続きを経ないで入居された方にも案内が行き届くよう、周知に努めています。 引き続き、町民の皆さんと協働でごみの分別、減量化に取り組んでまいります。

平成29年度 第2回 議会報告会 の意見・提言・要望等

	分野	内容・テーマ	報告会場	意見・提言・要望等	町からの回答
5	建設・都市計画	町道の管理	国府支所 保健センター	生活道路の維持管理に予算を回してほしい。 マリア道の整備はどのくらい進んでいるのか。 星槎学園のバスが農免道路を迂回し、道路が傷んでいる。皆が使えるようにマリア道を早く整備してほしい。	マリア道は、国府本郷西小磯1号線整備事業として、道路用地のご協力をいただいた箇所から、順次工事を行ってまいりました。 平成29年度は、運動公園の南側から星槎湘南大磯キャンパスに向かう、新しいルート部分の工事を実施しています。 平成30年度は、運動公園南側から、星槎湘南大磯キャンパス入口まで、全体的に道路の形を形成する工事を行い、通行ができるようにし、舗装などを含めて、平成31年度の完成を目指して事業を進めてまいります。
6	行財政	会議公開	保健センター	会議の傍聴ルールが町民参加の視点にたっていない。資料も国会なら事前にホームページで入手できる。傍聴も10人が限度では非公開に等しい。透明性のなさを感じる。傍聴人数や資料配布への対応を求める。	会議の傍聴は、「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、可能な限り傍聴席を確保するよう努めています。傍聴希望者数が傍聴定員を超える場合は、会議の運営を妨げない範囲で対応に努めますが、会場の広さ等の都合から十分な傍聴席を確保できないこともありますことをご理解ください。 また、会議資料は会議録とともに、町役場の情報コーナーにて閲覧に供しています。会議が終了してから速やかに閲覧が可能となるよう、資料公開の方法について対処してまいります。
7	行財政	町民からの意見聴取	保健センター	給食問題、みなとオアシス、駅前整備、明治150年関連施策などについて、大磯町自治基本条例に基づき、町民の意見聴取を行うべき。十分な話し合いのもと、一部の人の意見だけでなく、反対意見も生かしてほしい。	大磯町自治基本条例を適切に運用するため、「条例に関する基本方針」を定めています。基本方針では、議会で決定された事項を町民全体で共有及び尊重することを前提とした上で、町民の意見聴取（町民参画）を求める場合には、事業ごとに目的、時期、手順を提示して実施することとしています。各事業の実施においては、この基本方針に沿って実施してまいります。
8	行財政	明治150年関連施策構想	国府支所 保健センター	町民に対しての情報が無い。固定資産税が減額する問題もある。整備費用も検討が必要である。町民の知恵を出し合うことが重要ではないか。町民の意見をよく聞いて、汲み取ってほしい。 また、町民が使えるようなギャラリーや集会場としての利用を考えてほしい。	明治150年を記念する関連施策の一環として、滄浪閣を中心とした建物群及び緑地を対象区域として「明治記念大磯邸園（仮称）」を整備することが決定されました。 この邸園は国が整備し、平成30年度から着手する予定と聞いています。町では邸園が整備されることで、経済効果や雇用機会の創出、また、全国的な宣伝効果などが期待できると考えています。 具体的な整備内容は示されていませんが、町のメリット、デメリットなどを勘案し、いただいたご意見も踏まえ、町の考えなどを今後の国や県との協議の中で示してまいります。
9	建設・都市計画	公共交通	国府支所	黒岩は交通の便が悪く、買い物に不便である。使いやすい公共交通を考えてほしい。 西小磯東区の乗合タクシーは、ルートなど、どのように決まったのか。	公共交通の確保のため、路線バス撤退の申し出のあった黒岩地区の一部を含む富士見地区を走る路線バスについて、補助金を交付することにより、バス路線の維持に努めています。今後も、地域住民の方との意見交換会等を含め、住民参加のもと、地域の特性や要望の把握に努め、より利用しやすいものとなるよう検討を進めてまいります。 西小磯東区の乗合タクシーについては、平成24年度に「西小磯東区交通推進の会」が設置され、地域住民が主体となってアンケート調査や検討を行い、ルートや運行時間等を決定しています。

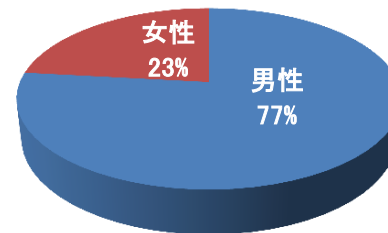
平成29年度第2回(11月)大磯町議会「議会報告会」
出席者数及びアンケート等集計結果

■ 「議会報告会」について

来場者

(未回答を含む項目は、合計が100%ではない)

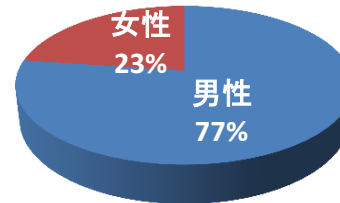
来場者数	合計	男性	女性
来場者数合計	43	33	10
国府支所	26	24	2
保健センター	17	9	8



アンケート回収率	合計	男性	女性
国府支所	77%	79%	50%
保健センター	88%	89%	88%

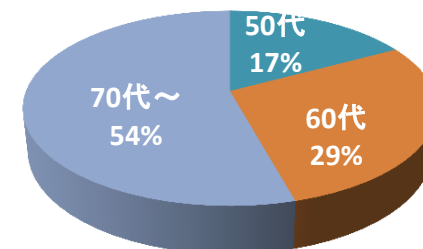
アンケート回答者

アンケート回答者数	合計	男性	女性	未回答
アンケート提出者数合計	35	27	8	0
国府支所	20	19	1	0
保健センター	15	8	7	0

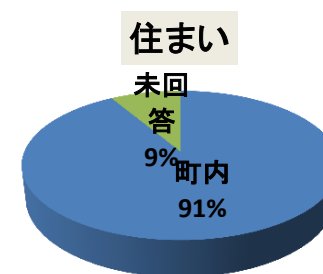


年齢

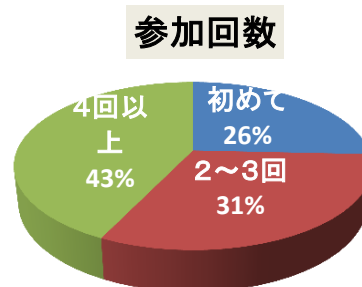
年齢	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
アンケート提出者数合計	35	0	0	0	0	6	10	19
国府支所	20	0	0	0	0	1	6	13
保健センター	15	0	0	0	0	5	4	6



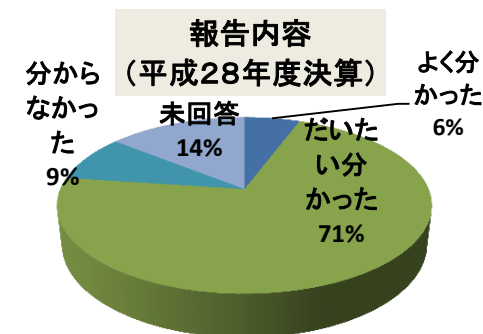
住まい	合計	町内	町外	未回答	回答のあった地区
アンケート提出者数合計	35	32	0	3	
国府支所	20	18	0	1	生沢・国府新宿・中丸・寺坂・馬場・月京・黒岩・石神台・西小磯
保健センター	16	14	0	2	西小磯・台町・東町・高麗・山王町・北下町・中丸



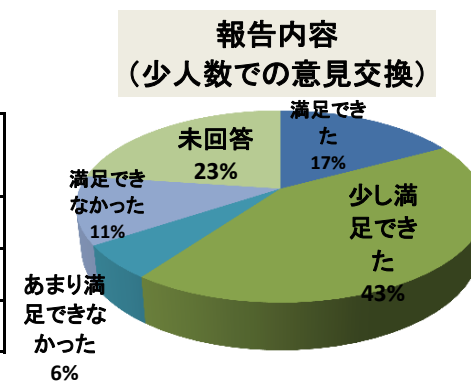
参加回数	合計	初めて	2～3回	4回以上
アンケート提出者数合計	35	9	11	15
国府支所	20	5	5	10
保健センター	15	4	6	5



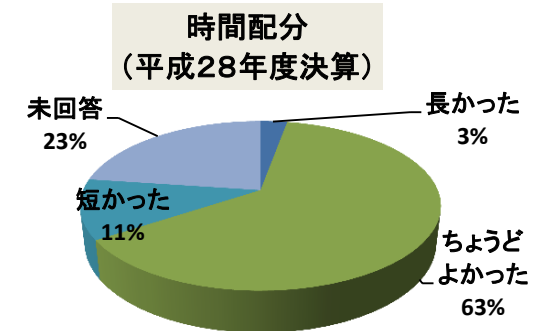
報告内容 (平成28年度決算)	合計	よく分かった	だいたい分かった	分からなかった	未回答
アンケート提出者数合計	35	2	25	3	5
国府支所	20	1	17	1	1
保健センター	15	1	8	2	4



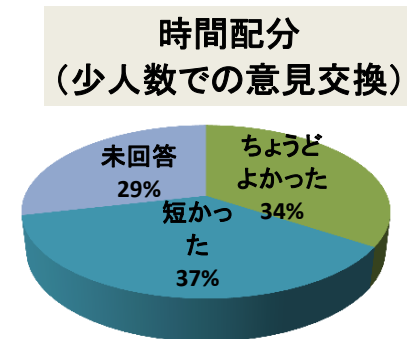
報告内容 (少人数での意見交換)	合計	満足できた	少し満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった	未回答
アンケート提出者数合計	35	6	15	2	4	8
国府支所	20	4	11	1	2	2
保健センター	15	2	4	1	2	6



時間配分 (平成28年度決算)	合計	長かった	ちょうどよかった	短かった	未回答
アンケート提出者数合計	35	1	22	4	8
国府支所	20	0	16	2	2
保健センター	15	1	6	2	6



時間配分 (少人数での意見交換)	合計	長かった	ちょうどよかった	短かった	未回答
アンケート提出者数合計	35	0	12	13	10
国府支所	20	0	9	8	3
保健センター	15	0	3	5	7



今後の内容 (複数回答あり)	合計	今までどおり	本会議での審議内容等	テーマに沿った意見交換	その他	未回答
アンケート提出者数合計	35	13	8	14	0	0
国府支所	20	8	7	10	0	0
保健センター	15	5	1	4	2	0

**今後の内容
(複数回答あり)**

